

**【博士後期課程】**

- ① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力
- ② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

## 2) 教育目的

**【博士前期課程】**

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

**【博士後期課程】**

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

## 3) 育成する人材像

**【博士前期課程】**

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者の育成（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者の育成
- ③ 地域や在宅においては健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職の育成
- ④ 看護の学問的基盤をもとに実践知、経験知を統合できる看護研究者の育成
- ⑤ 次世代の看護教育の中心的担い手としての教育者の育成
- ⑥ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材の育成
- ⑦ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材の育成

**【博士後期課程】**

- ① 看護学の基礎研究・応用研究に自立的に取り組み、人材育成システムの検証・提言ができる研究者、開発者
- ② 確かな知識や技術、倫理観を基盤として、看護職者を志す人々に質の高い教育を実現し、さらに新たな教育制度や方法、カリキュラム等の創出に寄与できる教育者
- ③ 看護現象の分析・評価を通じて、看護システムをグローバルに構築・変革し、自ら行動する高度専門職業人及び看護管理者を養成・指導できる教育者・管理者

**6 助産学専攻科の概要**

## 1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間において培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では看護師資格が大いに役立っている。

## 2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。

## 3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

## 7 平成24年度の特筆すべき事項

平成24年度、札幌市立大学では以下のような特筆すべき事項があった。

## 1) 新理事長体制の始動

平成24年4月より新理事長・学長に蓮見孝が就任した。蓮見新理事長は着任後より積極的に学内の意見を集約し、第二期中期目標ならびに第二期中期計画を踏まえ、第二期経営戦略を策定し、以下の4基本方針が示された。

- ① 「地域創成の核となる大学づくり（COC（Center of Community））」の積極的な推進
- ② 人の生活と社会の持続的充実・発展に寄与する教育・研究・社会貢献活動の三位一体による推進
- ③ デザインと看護の有機的連携と、連携成果をいかした新たな科学の基盤づくり
- ④ 大学の社会的プレゼンスを高めるための施策の推進

## 2) 第二期中期計画始動

第一期中期計画（平成18年度～平成23年度）終了に伴い、第二期中期計画が始動した。

札幌市が策定した「大学の存在感を高める」ならびに「目標の重点化」を基本とする第二期中期目標（平成24年度～平成29年度）を受け、札幌市立大学では第二期中期計画を策定し、「教育」「研究」「地域貢献、国際化、大学間連携」「業務運営の改善及び効率化」「財務内容の改善」「自己点検・評価」「その他業務運営」に関する目標を掲げた。平成24年度は63項目の年度計画を立案、実施した。

## 3) 大学院博士後期課程の開設

本学では、平成22年度から大学院デザイン研究科修士課程及び同看護学研究科修士課程を設置し、高度専門職業人、研究者及び教育者の育成に取り組んできた。

平成24年度から大学院博士後期課程を開設し、デザイン研究科、看護学研究科とともに、2年間の博士前期課程（修士課程）と3年間の博士後期課程からなる「区分制」大学院として再組織した。

## 4) 平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択

北海道・東北地域の17大学が協同して、産官学連携による人材育成を目的とした文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に応募し、「産官学連携による地